

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年7月末時点）

新規就農者の積極的な受け入れ等による地域ぐるみでの担い手の育成・確保				山梨県市川三郷町 大塚地区	
農家数 (認定農業者数)	213経営体 (約15経営体)	農地面積 (うち農振農用地)	49ha (49ha)	主な農畜産物	スイートコーン、 水稻、野沢菜
農業地域類型	平地農業地域	遊休農地	0.1ha	現状の集積率 (目標)	20.3% (66.0%)

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・当地域は、明治44年に1区画平均7a、671区画の基盤整備が実施されており、町内では数少ない平坦な農地であることから、特産のスイートコーンをはじめ、水稻、野沢菜の生産地として比較的農業者が多い地域である。 ・一方で、農業者の高齢化や後継者不足が懸念されることから、新規就農者を昨年（令和4年）から4人受け入れている。 	・既存の地域の担い手に加えて、引き続き新規就農者を積極的に受け入れ、地域ぐるみで担い手の確保・育成に取り組む。 ・水田活用の直接支払交付金を活用した飼料用米への転換や、稲作との輪作でのスイートコーン・ナス等の野菜の栽培促進を図る。 

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯(課題への対応)及び今後の予定
・この地域では、水稻との輪作によるスイートコーン、ナス、野沢菜の栽培が盛んである。農業で稼ぐことができる地域であり、担い手が63名と多く、意見を集約するのが難しかった。 ・アンケート調査の段階で個人間の契約が多く存在していることが判明した。今後、それらをいかにして農地中間管理機構の契約に結び付けるかが課題である。	令和4年7月 - 地域の活動スケジュールを設定。 令和4年10月 - 農地所有者や耕作者を農業委員、最適化推進委員が戸別訪問して意向を把握。 - 農業委員間で意見交換を実施。 - 条件不利地域の農地所有者の意向は聞き取りを強化することを確認。 - 山梨県の農務事務所と共催で町への就農希望者を対象にした就農研修相談会を初開催。 - 先輩農業者による体験談や町の実情、支援制度について説明し、「町で農業するイメージが描けた。」と評価。 令和4年11月 - 把握した意向を基に目標地図の素案を作成。 令和5年7月 県、町、農業委員会で今後の進め方について打合せ。 令和5年8月～令和6年2月 - 目標地図も含めた地域計画の素案内容を検討し作成。 令和7年3月(予定) - 地域計画の最終確認、策定。 